

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	にじいろ		公表日 令和7年 3月10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		指定基準を満たしており、限られたスペースを有効活用できるように工夫します。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		職員配置については、高崎市の定める指定基準を遵守して、サービスを提供しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		個々の障害特性に応じ、視覚的な構造化や安心した環境づくりを行い、落ち着いて活動に参加できるように配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		利用者一人一人の障害特性に配慮した環境の設定を行います。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個室やパーテーションを用意し、個々の特性に合わせ環境を整えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		毎年、目標設定を実施し年度末には振り返りを行っています。	支援員間での情報共有を継続し、業務改善に努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		年度末に保護者との面談を実施し評価、要望の聞き取りを行い支援に取り入れています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎月の会議で振り返りを行い、職員間で共有し業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		現在、第三者による外部評価を受ける予定はありません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		施設内研修（人権擁護）を行い、グループワークを通し活発に意見を出し合い、支援を振り返る機会を作りました。	法人内の研修では代表者が参加し、部署会議にて伝達研修を行っています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			職員間で話し合い、支援プログラムの作成を行いました。法人のホームページにて公表いたします。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		保護者の方から聞き取りを行い計画作成に繋がっています。高学年の児童には、ご本人の希望を聞くようにしています。	本人、保護者の希望を取り入れた計画策定に努めます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		放課後等デイサービス計画の作成時には職員間で情報交換し個々のニーズや強みを反映した作成を行っています。	部署会議にて支援の振り返りを行い、支援の改善に努めています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		放課後等デイサービス計画は職員間で共有され統一した支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		日々の記録に記載し職員間で確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		放課後等デイサービス計画において「放課後等デイサービスの提供すべき支援」を個々の利用者に必要な項目を設定し、具体的な支援内容の記載を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		支援員全員で相談し立案しています。	アイデアを出し合い、様々なプログラムを提供できるようにします。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		曜日によって利用する児童が変わるため、活動内容を曜日ごとに変えて提供しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		5領域をもとに個別活動や集団活動を組み合わせ、生活スキルや社会的スキルの向上に努めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		午前前に前日の振り返り、当日の支援の確認、及び活動の準備を行っています。	職員間で情報共有を図り統一した支援を行えるようにします。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後に十分な時間が取れないため、翌日の活動支援前に打合せを行っています。	職員間で情報共有を図り統一した支援を行えるようにします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		適切な記録を心がけています。	記録した内容については職員間で共有します。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的実施し、見直しをしています。	定期的実施し、利用者・保護者の意見を聴き見直しをします。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		創作活動では、季節の創作品をさまざまな素材を使用し作成しています。併設した事業所の地域交流の機会と一緒に参加しました。	地域交流の機会が少ない状況です。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		買い物外出や昼食外出等、自分の好きなものを選択して購入する機会を作っています。	自己選択する場面では、自分の思いを表出できるような工夫を行います。

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		関係機関とは情報の共有を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		情報共有、連絡調整については行き違いが無いように心がけています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		必要に応じて情報共有を図ります。	新1年生の受け入れ時は、保育所等との情報交換を行います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		必要な情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			研修の機会があれば積極的に参加します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		近くの公園で近所の子どもたちとの交流があります。	地域の子供と交流する機会があれば参加します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7			現在のところ参加の機会がありませんが、機会があれば参加させていただきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳の利用や送迎時に活動中の様子をお伝えしています。	ご家庭との情報共有を図り、支援に活かします。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	児童発達支援管理責任者が関係機関と連携し、必要な支援を保護者に伝えています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		実施しています。	不明な点があれば丁寧に説明をします。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		放課後等デイサービス提供を作成する際は、個別面談を行い、利用者・保護者の意思や要望を聴く機会を設けています。	利用者、保護者より細かいアセスメントを行い、意思を聞き取り子供の利益を最優先した支援を行います。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		「放課後等デイサービス計画」についてはわかりやすく説明し同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		ご家族より相談があった際はその都度実施しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		以前は行っていましたが、感染症の影響により現在行っていません。	保護者の要望により開催を検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		法人内で定めている規則に則り迅速な対応を心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		活動時の写真を提供したり、ホームページに活動の様子を公開しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の取扱いは慎重に行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		個々に配慮して対応しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	にじいろでは実施しませんでした。併設されている事業所にて地域の方との交流の機会があり一緒に参加しました。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルの確認と周知が不足していると思われる。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画（BCP）を策定し計画に基づいた訓練を行っています。	訓練後の課題点を再計画いたします。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者と情報交換し確認しています。	保護者と密に情報交換をします。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		現在、保護者からの情報に基づいて対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、計画に沿って実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		ご家族に周知しています。	今後も周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		月1回の会議時に共有しています。	会議で共有した内容について改善します。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		法人内で実施している研修に代表者が参加し伝達研修を行っています。他施設長を講師に招き「人権擁護研修」を実施しました。	研修の機会があれば積極的に参加し意識向上に努めます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		保護帽、補装具、車椅子ベルトの使用について、毎月の会議にて検討しています。	保護帽、補装具、車椅子ベルトの使用については、各々の状況に応じて外しリラックスできる機会を増やします。	